

環境省「令和元年度脱炭素社会を支えるプラスチック等資源循環システム 構築実証事業」における「補助事業者からの事業報告会」

開催結果

一般社団法人日本有機資源協会では、環境省「令和元年度脱炭素社会を支えるプラスチック等資源循環システム構築実証事業」の内、交付を受けた補助金を財源として、石油由来プラスチックの代替素材である再生可能資源への転換及び社会実装化又はプラスチック等のリサイクルプロセス構築及び省 CO₂ 化を行う事業に要する経費に対して、当該経費の一部を補助する事業を実施して参りました。

令和元年度は、間接補助事業者（補助金交付者）として14者が採択されました。令和2年3月に実施予定をしておりました“事業者からの事業概要と成果についての報告会”を新型コロナウイルスの影響で延期をさせていただいておりましたが、今般、動画配信方式（YouTube Live）により開催いたしました。

開催概要

1. 催事名：
「令和元年度脱炭素社会を支えるプラスチック等資源循環システム構築実証事業」
における「補助事業者からの事業報告会」
2. 開催日時：
開催日／2020年12月18日（金）及び21日（月）
開催時間／9時45分～16時（詳細は別紙「次第」参照）
3. 内 容：
「補助事業者からの報告」
※各事業の概要は、
https://www.jora.jp/19datsutanso/pdf/200302pamphlet_all.pdf
をご参照願います。
4. 聴講方法：
動画配信方式（YouTube Live）指定 URL への直接アクセスによる動画視聴。
5. その他
ご質問・ご意見などがございました場合は併設した下記アンケートにお寄せください。
アンケートフォーム http://bit.do/R1debriefing_questionnaire

以上

(別紙)

「令和元年度脱炭素社会を支えるプラスチック等資源循環システム構築実証事業」
における「補助事業者からの事業報告会」 次第

I. 開催日時：2020年12月18日（金）及び21日（月）いずれも9時45分～16時

II. 開催方法：動画配信（YouTube Live）

III. 主 催：一般社団法人日本有機資源協会

IV. 内 容：

<時刻は目安。休憩は10:50(10分間)、12:00(60分間)、14:20(10分間)を予定>

1. 主催者挨拶：9:45 一般社団法人日本有機資源協会

2. 採択事業者報告

9:50 株式会社カネカ／「PHA系バイオプラスチックのライフサイクル実証」

10:10 株式会社環境経営総合研究所／「紙パウダーと生分解性樹脂の混成技術
・製品によるコスト競争力のある使い捨てプラスチック製品の代替」

10:30 株式会社事業革新パートナーズ／「植物由来ヘミセルロースを活用した
バイオマス含有PMMAへの転換及び社会実装化」

11:00 株式会社ティーエヌ製作所／「古紙粉・PLA
カウンタープレッシャー射出成形システム及びリサイクル実証」

11:20 東罐興業株式会社／「プラスチック製被せ蓋の紙化によるCO₂削減」

11:40 日清食品ホールディングス株式会社／「バイオマスPE等による
食品容器包装のバイオ化に向けた加工技術開発」

13:00 株式会社バイオマスレジン南魚沼／
「資源米を原料に含むバイオマスプラスチック樹脂の量産化
及びその他未利用バイオマスの樹脂化のための技術実証」

13:20 フタムラ化学株式会社／「イオン液体法によるセルロース不織布の製造」

13:40 株式会社平和化学工業所／「バイオマスプラスチック等代替素材の
用途拡大に向けた高品質ボトル開発」

14:00 レンゴー株式会社／「セルロース粒子による
マイクロプラスチックビーズの代替」

14:30 環境エネルギー株式会社／「各種廃プラスチック油化による
ケミカルリサイクル」

14:50 株式会社リーテム／「小型家電等リサイクル工程で発生する
混合プラスチックの効率的選別とバリューチェーン構築・商品化」

15:10 株式会社リコー／「樹脂判別ハンディセンサーの創製による
樹脂リサイクル促進」

15:30 ワタミ株式会社／「宅配弁当容器の自社回収リサイクルシステム
並びに再生品活用プロセスの構築」

3. 閉会

以上